

24時間 市の情報を
あなたに
お届けします……

テレビホン ガイド



情報は、1週間ごとに吹
きかえられます

こんなときは――

■議会日程やいろいろな
相談日

(73) 3931

■日曜・祝日の当番医や
赤ちゃんの健康相談日

(73) 3932

■スポーツ、レクリュー
ションなどの催し物

(73) 3933

山の魅力にとり つかれて 白根山岳会

クラブ名がズバリ表わしているよ
うに山登り。

「山の魅力は、山を登った者でな
ければわからない――」と、よくい
われます。

それだけに30人の会員は、人一倍
山に情熱をそそぐ人たちばかり。

「山ばかり登って…と家族によ
くいわれるけど、こればかりはや
められません」

山キチの集まりだけあって、毎月
1回は定例山行。でも、単に自然の
美しさだけに魅せられているのでは
ありません。

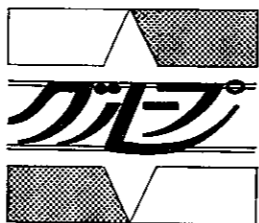
「山は私たちに忍耐と助け合いの
精神など、いろいろなことを教えて
くれます。それに第一健康的です」

また、一般市民を対象にした活動



夏山よ
り冬の方
がとって
も素敵な
んです。

〔会員の声〕
玉井和子さん
昨年の春、初めて市民
登山に参加して、山の魅
力に取りつかれました。



も活発に行っています。

年2回の市民登山は、その代表的
なもの。このときは、高度なテクニ
ックを必要とする山登りを行わず、
だれでもが楽しめるコースを選定。

それだけに参加者も多く、喜ばれ
ています。

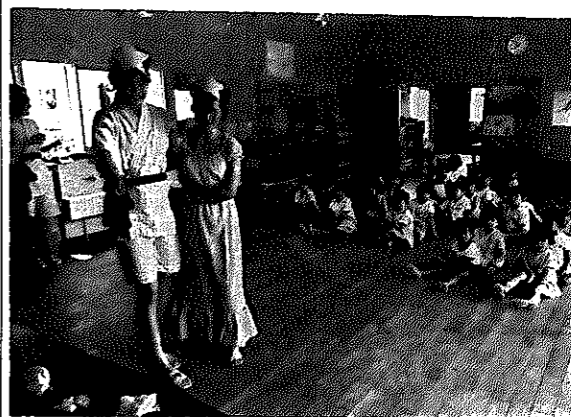
会の発足は古く、18
年にもなるそうです。

この夏も、槍が岳で
1週間の合宿訓練を予
定しているとか……。

今、その準備に追わ
れている毎日だそうです。

子に説教する親よりも背が高く
藤崎 実
一間でも金魚は愚痴をこぼさない
吉川 彰
北の宿から魚まで北ブーム
岡村 清
なんとなく頭下げさせる古稀の人
後藤まさの
赤字でも倒産しないのが役所
大井義雄
爺さんの曲った臍を孫が撫で
保科盛広
お早ようさん散歩同志が出合う道
広野仁一
杖頼る誰の所為でもない病い
吉川末吉
教室の子等を湧かせた迷い蝶
本間吾朗
てふてふを蝶と言われて子はたま
長井徳市
いつの間にか朝の散歩が胃を直し
高橋京子
庭山久作

保育園をたずねて



楽しい「たなばた祭り」

根 岸 児童館

七月七日は「たなばた祭り」
ここでは毎年、この日が来る
と、子どもたちが保母さんに、
保母さんが子どもたちに、歌を
うたったり劇をして見せてくれ
ます。

保母さんが演じる「ひこぼし
とおひめ」の劇が始まると、
子どもたちから「先生、きれい
ネ」の声――おひめ役の保
母さんは、チョッピリ照れくさ
そうです。

切り花を始めてから、今年でようやく三年目を迎える
ところ……。

その動機としては、高校時代と実際に農業に従事して
からの考え方が違って来たこと。高校時代は、水稲
中心の大規模経営が夢でした。

しかし、たとえ規模は小さくとも、その家、その人の
農業経営があるということと水稲中心の経営では、農閑
期に弁当を持って、かせぎに出なければなりません。そ
れがきらいだったのです。

こんなことから、埼玉県深谷市で切り花を学んできま
した。技術的に未熟な私がこうして、農業に従事してい
られるのは、同じ考えを持っている友と話し合いができ
るからです。

これからも、自分の農業を確かなものにするために友
と話し合いながら、考え方、技術交換をいっそう深める
つもりです。



高橋 等さん
(期が通り・21歳)

わが家の農業は、水稲、果樹、普通畑、水田裏作の球
根生産、それに球根切り花と多種多様です。
この中で、水稲と球根切り花が自分の農業です。球根

農家のあじとり ④

これがオレの農業！

市民文芸

俳句

庄瀬 俳壇

山峡の青田の風よ湯香流れ

西山了空

高松の若葉宿や筆をかむ

須戸義夫

金割の湯に満足りて昼寝かな

川又仁三郎

濃き緑鳥の声のみ山の宿

坪川桐太郎

濃紫のあやめは男の色をなす

田中昭一

栗の花半踏み踏み金割の湯

石田豊一

口紅の朱き芸者や梅雨の宿

石田豊夫

懐かしき姫百合咲きて我が故郷よ

東町 渡辺 勤

川柳

白根川柳文芸会

言いのがれ出来る答弁距離を置く

吉川 彰

映倫もパンダの恋に水差さず

中村尚治

砂利道を記憶に残す足の裏

今井七郎